

平成26年度 燕市西蒲原郡音楽部 活動報告

部長 大石 吉輝

1 研究主題

音楽に親しみ、かに表現するための指導の工夫

2 研究の概要

(1) 第1回 授業研究会

(期日 6月4日(水) 会場 吉田南小学校 音楽室)

授業者 高橋 哲子 教諭(吉田南小学校)

題材名 第3学年 「楽譜で読もう」 (4/7時間)

指導者 井出 治美 先生(加茂市立加茂西小学校 校長)

(2) 第2回「教科書の改訂のポイント」についての講習会

(期日 12月3日(水) 会場 燕西小学校 音楽室)

講師 作曲家 長谷部 匡俊 様

3 研究の実際

(1) 第1回 研究授業

導入では、共通事項の内容を押さえながらリズム遊びやフラッシュカードを使っての階名読みを取り入れていた。それらの活動が、学習課題「『わたしの旋律づくり』をつくってみよう」に生きており、また、児童が興味をもてる課題提示であった。学習内容は、自分で選んだ音をつなげてオリジナルの旋律づくりを行い、友だちとできあがった旋律を聴き合った。階名で歌うことを今まで積み重ねてきていたので、子どもたちは耳がよく育っていた。和音の中に自分の音が溶け込んでいることを実感することができていた。

指導者の井出治美先生からは、全学年からの内容のつながりに配慮することや、音楽づくりにおいて音楽の要素や仕組みに触れることについてご指導をいただいた。

(2) 第2回 「教科書の改訂のポイント」についての講習会

新しい教科書を使って、指導要領を実現させるためのポイントをご指導いただいた。題材のねらい、日本の音楽を扱う内容の1年生から6年生までの系統性、音楽づくりの指導事項や共通事項を確認した。

また、鍵盤ハーモニカやリズム打ちを取り入れながら教科書教材を合奏して、教材の良さを実感することができた。

4 成果と課題

【成果】 題材のねらいをしっかりと確認し、系統を意識しながら授業を組み立てていくことが大切であり、また、共通事項については、言語活動を強調しすぎることなく、音楽を通して学習するべきであるということを学んだ。

【課題】 指導要領、教科書の内容、年間指導計画をしっかりと把握し、計画的に学習を進めていくために大切なポイントを学ぶことができた。それらの計画に従って、一単位時間の授業で子どもたちに付けさせたい力を明確にし、どのような活動を組み合わせるかを検討していきたい。

